Summary of the International preliminary examination Report

1. Date of completion of the Report:

November 12th, 2003

2. International application No.

PCT/JP03/13125

3. Basis of the Report:

The international application as originally filed.

- 4. Reasoned statement:
- i)Statement;

Novelty (N)	Claims 1-11	YES	
Inventive step (IS)	Claims 1-11	YES	
Industrial applicability (IA) Claims 1-11	YES	

ii) Citations and explanations;

No description is made in the documents cited in the International search Report and no prior art is found concerning the respect that the effects that the power loss can be reduced by reliably determining the working vehicle is under excavating operation and that reduction in working efficiency is not caused or sense of incompatibility are not given to the operator by the constitution of "setting the

3

(date. month. year)

20.12.01

特 許 協 力 条 約



PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

の書類記号 KOM1015WO		開番食報告の送付通知(様式PCT/ A/416)を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP03/13125	国際出願日 (日.月.年) 14.10.03	優先日 (日.月.年) 23.10.02
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' F1	5B11/00 E02F9/22	
出願人(氏名又は名称) 株式会社小松製作所		
1. 国際予備審査機関が作成したこの	7. 陈文. 萨尔·大· 4. 计长年担间在5.0.4	
	•	条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表緒 	紙を含めて全部で <u>4</u>	ページからなる。
□ この国際予備審査報告には、『 査機関に対してした訂正を含む (PCT規則70.16及びPCT この附属書類は、全部で	い明細書、請求の範囲及び/又は図記	&告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審 面も添付されている。
3. この国際予備審査報告は、次の内容	卒を含む。	
I X 国際予備審査報告の基礎	i	
Ⅱ □ 優先権		
Ⅲ □ 新規性、進歩性又は産業	上の利用可能性についての国際予備	審査報告の不作成
IV 開発明の単一性の欠如		
V 区 PCT35条(2)に規定での文献及び説明 VI 区 ある種の引用文献	する新規性、進歩性又は産業上の利月	目可能性についての見解、それを裏付けるため
VII 国際出願の不備	. •	
VII 国際出願に対する意見		
	•	
国際予備審査の請求書を受理した日	国際予備審査	



国際予備審査報告

国際出願番号 PCT/JP03/13125

I.	E	国際予備審查報	告の基礎			·
1.	Ę,		提出された差し替え用紙は、		れた。(法第6条(PCT14 おいて「出願時」とし、本報告	
	X	出願時の国際	光出願書類			
		明細書 明細書 明細書	第 第 	_ ページ、 _ ページ、 _ ページ、 _ ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に 付の	に提出されたもの O書簡と共に提出されたもの
		請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲	第	項、 項、 項、	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき 国際予備審査の請求書と共に	
		請求の範囲	第	^項 、		D書簡と共に提出されたもの
		図面 図面	第 第 第	ページ/図、 ページ/図、 ページ/図、		こ提出されたもの の書簡と共に提出されたもの
		明細書の配列	表の部分 第 表の部分 第 表の部分 第	ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に 付の	こ提出されたもの の書簡と共に提出されたもの
2.	_	上記の出願書類	気の言語は、下記に示す場合	を除くほか、こ	の国際出願の言語である。	
	_	上記の書類は、	下記の言語である	語であ	ర .	
		PCT規	のために提出されたPCT規 則48.3(b)にいう国際公開の 審査のために提出されたPC	含語	•	
3.		この国際出願に	は、ヌクレオチド又はアミノ	酸配列を含んで	おり、次の配列表に基づき国際	祭予備審査報告を行った。
		□ この国際 □ 出願後に □ 出願後に □ 出願後に ■ 出願後に	提出した書面による配列表が があった る配列表に記載した配列と	ディスクによる配 は調査) 機関に は調査) 機関に は調査) 機関に ない は関時における		る事項を含まない旨の陳述
4.		明細書 請求の範囲	F記の 書類が削除された。 第 第	ページ 項		
5		れるので、		 たように、補正 として作成した	ジ / 図 が出願時における開示の範囲 。(PCT規則70.2(c) この 告に添付する。)	
						: :

V.	新規性、進歩性又は産業上の利用で 文献及び説明	可能性についての法第12条 	(PCT35条(2)) に定め	る見解、それを裏付ける
1.	見解			-
	新規性(N)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-11	有 無
	進歩性(IS)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-11	
	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-11	

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

本願の特許請求の範囲に記載のように、「シリンダのボトム側の油圧が所定値以下の状態の継続時間を計測し、計測時間が所定時間経過し、その後、前記シリンダのボトム側の油圧が所定値を越えたときに掘削作業開始と判断」した場合に、「油圧ポンプの容量を最大容量より低減された所定容量に設定」又は「作業機操作レバーの最大ストロークに対する前記制御弁のストロークを最大ストロークより小さい所定ストロークに低減する」構成により、確実に掘削作業中であることを判断してパワーロスを低減でき、かつ、作業効率を低下させたり作業者に違和感を与えることがないという効果を奏する点については、国際調査報告書に列挙されている文献には記載されていないし、他に先行技術を発見しない。



国際出願番号 PCT/JP03/13125

書面の日付(日.月.年)

 出願番号符許番号	公知日 (日. 月. 年)	出願日 (日.月.年)	優先日 (有効な優先権の主張 (日.月.年)
JP2003-184134	03. 07. 03	20. 12. 01	20. 12. 01
	· Company of the		
		4	

(日.月.年)